

令和6年度 県立守山中学・高等学校入学式 校長式辞

校門のサクラが見頃を迎え、春の訪れを感じる今日のよき日、多数の保護者の皆さまとご来賓の方々のご臨席のもと、「令和6年度 滋賀県立守山中学校・高等学校 入学式」を盛大に挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びとするところでございます。

ご来賓の皆様におかれましては、ご多用のところ、ご出席賜り、教職員を代表して御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可しました中学校80名、高等学校278名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。また、今日まで、様々な面でお子さまを支えてこられた保護者の皆さま、お子さまのご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本校は、昭和38年に開校し、昨年度60周年を迎えました。この間、文武両道の学校として着実に成果を上げ、地域ならびに県民の皆さまの厚い信頼を得て大きく発展してきました。平成15年には、県内初の県立中学校が併設され、その中学校も昨年度で創立20周年を迎えました。卒業生は1万8千人を超え、国内外を問わず多方面で活躍され、社会に多大なる貢献をしてこられましたことは本校の誇りです。

本校の校訓は、「協和、進取、叡智」の3つであり、本校が育てようとしている生徒像を表しています。

「協和」とは、互いの人格を尊重し、協力する心を大切にする人間を育てること、

「進取」とは、積極的に物事に取り組み、主体的に行動できる人間を育てること、

「叡智」とは、一人ひとりの個性を生かし、高い知性を持つ人間を育てること、です。

これら3つの校訓のもと、卒業生や、本校で教鞭をとられた先生方がこれまで築いてきたすばらしい伝統を、皆さんがしっかりと受け継ぎ、勉強に、部活動に、そして学校行事に、主体的に精一杯取り組み、大きく成長されることを心より念願しています。

中学・高校で過ごす期間は、子どもから大人へと心も身体も大きく成長する時期であり、また、自分の将来決めていく大切な時期でもあります。勉強はもちろん、部活動、学校行事等の中で、自らを鍛え、様々なことに、自分からチャレンジをし「文武両道」を目指してください。

しかし、必ずしも勉強や部活動等で優秀な成績を収めてほしいということではありません。あくまで「何事にも全力で取り組む、自分がこれまで苦手としてきたこと、新しいことに対してチャレンジする」ということが大切です。自分で主体的にまずはやってみることこそが尊いのです。やってみて失敗して何かに自分で気づくことが次のステップとなります。

人工知能、いわゆるAIやロボットの進化により、人間が行っている作業の半分は、AIやロボットが代わりに行うようになっていわれています。

一昨年末に、アメリカの企業がChat GPTと呼ばれる対話型のAIを公開しました。質問に対して、膨大なデータベースを元に短時間で、人間との会話のようにそれらしい答えを作成してくれるというものですが、内容の信頼性には大きな課題があると言われ

ています。正当性を検証したり、ゼロから新たなものを作り出す創造性や様々な人とコミュニケーションをとりながら協働したりすることなどは、人間にしかできないことです。皆さんには、AIやロボットにはできないことを身につけてほしいと思います。

現在、世界では多くの方が紛争による被害で苦しみ、亡くなっています。私たちにできることは限られていますが、教育の目的は、平和で民主的な国家と社会を作るのに必要な資質を備えた人材の育成です。誰もが安心して暮らせる平和な世界の実現という理想をもって、理想のために行動できる、そんな人に皆さんが育っていってくれることを切に願います。

終わりになりますが、保護者の皆さまにおかれましては、これまでお子さまを育ててこられた年月を振り返ると、がんばりすぎではないかと心配するとき、体調の悪いときなど、様々なご心配やご苦労があったことと思います。しかし、本日の成長されたお子様の晴れ姿を見て、一安心されるとともに、その喜びもまた格別のものがあるのではないのでしょうか。皆さまが手塩にかけて育てられたお子様を、本日より責任を持って本校でお預かりいたします。全教職員、心を一つにして、皆さまの期待と信頼に応えられるよう教育を進めてまいります。

どうか今後とも、本校の教育活動ならびに、PTA活動に深いご理解と力強いご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、式辞といたします。

令和六年四月八日 滋賀県立守山中学・高等学校 校長 明吉 正知